

# ブロック会報告書

## ブロック会議

実施日 平成 30 年 12 月 4 日（火） 14 : 00 ~ 16 : 00

会議実施会場 介護老人保健施設 なのはな苑

参加人数 14 施設・20 名参加

### 議事項目

「防災について」

### 内容

|  |
|--|
| <p>各施設による防災についての報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・N 苑 地震、火災を想定した訓練を年 2 回実施。放水、消火器の体験。利用者様との避難をシュミレーション。非常食を 3 日分常備。基本的なことは他施設と同様。311 を経験された気仙沼の施設に講習をしていただき、防災グッズは倉庫にとりに行くのではなく、フロアにストックするようアドバイスを受けた。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・S 施設 エレベーターが使えなくなることを想定し、バケツリレー方式で食事配膳の訓練を行った。施設外の倉庫は火災を想定しており、洪水対策には有効ではないため現在はフロアにも備蓄をし、体勢を整えている。</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・N 苑 今年の台風発生時、ランタンの電池がなく慌てることがあった。火災報知機の操作方法などやり方が周知されていないため、ソフト面の調整が課題。</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・H 施設 特養H、佐島マリーナ、芦名町内会と地域連携協定を結んでいる。海に近いため津波のマニュアル作成に取り組んでいる。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・N 施設 日中と夜間のシュミレーションを行っている。来年は消防署と連携しはしご車を使った訓練を予定している。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・K 施設 食料は 260 名分を 5 日間分備蓄している。毎月 1 日防災グッズ、必要設備のチェックを行っている。</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・K 苑 非常用電源が 30 分しかもたないため、その時間を想定したシュミレーションを行っている。中庭の倉庫は以前崖崩れがあり、消防より物品が全滅する可能性があるため、堅固な建物に移動するよう指導があり移動している。特別避難場所として町内会と協</li></ul>   |

|  |
|--|
| 定を結んでいる。   |
| ・ S施設 海沿いの施設では津波を想定し、備蓄庫を移動した。法人として 311 の実体験をきかせていただく研修を実施。今後も継続していく。  |
| ・ R施設 年に1回県の防災センターで研修に参加。停電時の発電機や専用のコンセントが実際には使えず、非常口も開かないことがあり、点検の必要性を実感。過信せずチェックを行っていく。賞味期限の切れた備蓄用食料の処理について検討していく。                                   |
| ・ 老健K 備蓄用の食料について期限が近い物については職員に提供、無駄にしないよう配慮している。防災訓練は1週間前に事前訓練を行ってから本番を行っている。  |
| ・ K施設 K病院と併設。毎月出火場所を変えて訓練をしている。合同の訓練では消防署の指導を受けはしご車や非常用滑り台を体験した。   |
|  |
| フリートーク   |
| ・ 緊急連絡網の整備。電話番号では、個人情報についての漏えいなどリスクを想定する必要もある。一斉送信ができるメールやラインを使った周知の方が効率がよい。また、メールだと震災時には電波が弱くなる。ライン(SNS)はメールより繋がりがやす事がわかっている。ラインをしていない人などもいるため、課題もある。 |
| ・ 災害時、何を優先すべきか。利用者様か、自分の家族か？ 職務中であっても自分の家族の安否確認をしなければ冷静に行動することがむずかしい。  |
| ・ マニュアルに震度6以上で、自分の家族の無事が確認されたら職場へ向かうよう明記している施設もある。   |
| ・ マニュアルにどこまで明文化されているか。夜間に起こった場合、日中のデイケアの送迎、実際に起きてしまったとき、適切な行動をとれるか？  |
| ・ そのときの状況や被害によって判断する部分もある。   |
| ・ 無理をすると二次災害にもつながる。火災であれば、安全な場所へ移動し、消防を待つ方がよいため、できることをする必要がある。   |
|  |
| 執行部より  |
| ・ 来年度は研修後の総会を行う。テーマは人材育成や人材確保について。4月19日を予定。場所は上大岡ウイング。   |
|  |
| 以上   |
|  |
|  |